

# 平成27年度事業計画について

## 1 ツーリズム創造・発展事業

### (1) ツーリズム企画推進事業

- ①事業企画委員会のもと、会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、事業提案を行う。
- ②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。
  - 大分県ふるさとガイド連絡協議会
  - 大分県教育旅行誘致協議会

### (2) 地域ツーリズム振興事業

- ①大分県ふるさとガイド育成事業  
大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を2回開催し、ガイドの資質向上を図るとともにガイド同士の情報やノウハウの交換を促進する。  
さらに、地域の観光素材を結ぶ着地型商品と連携して、ガイド活動の幅を広げていくことに努める。
- ②広域観光推進事業  
豊の国千年ロマン観光圏では、平成27年度にステージ2の新たな事業が展開されることから、引き続き協議会に事務局として参画し、ツーリズムおおいたが取り組む着地型商品造成と連携した県北部の広域観光圏の推進を図る。

### (3) 広域連携事業

- ①九州観光推進機構  
九州観光推進機構を中心に九州各県と連携した事業を実施するとともに、機構主催の観光相談会やイベント等に参加し、PRを行う。
- ②各県との連携  
東九州自動車道が北九州から宮崎までほぼ開通したことから、宮崎県と連携した東九州広域観光推進協議会において、引き続き福岡・中国・四国地方へのPR強化や商品造成を進める。  
また、長崎県、熊本県との九州横断長崎・熊本・大分広域観光振興協議会において、国内外の誘客・PRの取組を進める。

## 2 情報収集・発信事業

「日本一のおんせん県おおいた」の認知度向上を図るため、新たな話題づくりや旅の決定権を持つ女性に向けた情報発信を行い、おんせん県の浸透を図る。

## (1) 「日本一のおんせん県おおいた」PR事業

### ①若者向け温泉旅行キャンペーンの実施

「お湯マジ! 22」を引き続き実施し、温泉のすばらしさを若い世代に実感してもらいファン層の獲得を図る。

### ②観光ホームページリニューアル事業 (新規)

現行ホームページが5年を経過することから、リニューアルを行うとともに、スマートフォン対応アプリや増加傾向にあるインバウンド向けのサイトの充実を図る。

### ③ロケツーリズム推進事業

映画、ドラマのロケ地は、放映中に多くの観光客が訪れるだけでなく、ロケ中の経済効果やその後の活用により、地域の活性化に大きく寄与することから、誘致に向けた活動を強化するとともに、県内全域の受入体制の整備を推進する。

## (2) 情報誌等発行事業

### ①情報誌「Gururitto～ぐるり～」等発行事業

県内の魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」を発行し、県内及び九州内や中国地方などの道の駅や公共交通機関のターミナルなどに配布する。

また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいた NEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動向を紹介する。

### ②ニューズレター発行事業 (新規)

旅行会社やメディアに対して、観光素材・施設などの旬な情報を提供し、おんせん県を広くPRするため、業界向けのニューズレターを定期的に発行し、広報、誘客促進を図る。

### ③観光情報収集事業

地域観光協会の観光情報と連携するXMLシステムを活用しながら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取組に関する情報などを収集・集約する。

## 3 国内誘客促進事業

大分県への観光入込客数第1位の福岡圏域、陸海空の全ての交通アクセスで繋がる関西・中国圏域、人口が集中する首都圏に対し、それぞれのニーズに応じた情報発信やセールス活動を行うことにより、圏域毎のターゲットに対して効果的な誘客促進を図る。

また、県立美術館「OPAM」の企画展等と連携し、誘客促進を図る。

### (1) 福岡圏域誘客対策

若い女性及びファミリー層を主なターゲットとして、フリーペーパー等各種情報誌に旬な情報の掲載などを切れ目なく発信する。

商品造成についてはツーリズム商談会を開催し、エージェントやメディアに大分県の観光PRを行うとともに、バスツアー等の積極的な造成を図る。

### (2) 関西・中国圏域誘客対策

若い世代、アクティブシニア並びに教育旅行を主なターゲットとして、JR、フェリー、航空機といったあらゆる交通事業者と連携した商品造成を促進する。

教育旅行では大阪、京都、兵庫といった関西圏並びに広島を中心とした中国地方をターゲットとした誘致を推進するとともに、エージェント担当者招へいやセミナー開催を実施する。

また、グリーンツーリズム、留学生との交流事業以外の新たな学習素材のコンテンツ開発を推進する。

### (3) 首都圏誘客対策

好奇心旺盛なアクティブシニアや働く女性、マニア層、富裕層を主なターゲットとして、大分県東京事務所おんせん県おおいた課と連携を密にし、マスコミ等を活用した情報発信を強化し、誘客を促進する。

また、LCCなど航空事業者と連携した事業により、首都圏からの誘客を促進する。

### (4) 「OPAM」企画展連携事業 (新規)

若い女性をターゲットに、大分県出身の人気漫画家が描く「進撃の巨人」展と連携した事業を行い、誘客促進を図る。

### (5) 旅行予約サイトとの連携事業 (一部新規)

個人型旅行が主流となっていることから、大手旅行予約サイトと連携し、国の地方創生交付金を活用した誘客キャンペーンを展開し、誘客を促進する。

## 4 おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン推進事業

国内最大規模の観光キャンペーンである「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン(DC)」(7月～9月)の成功に向け、県・市町村・民間事業者と連携した取組を行い、交流人口の増加による地域活性化や官民一体となった観光推進体制の強化を図る。

### (1) 旅行会社向け販売促進強化事業（新規）

DC期間中の誘客を促すため、旅行会社店舗でのディスプレイコンテストや販売員等の現地研修支援などを行い、販売促進強化を図る。

### (2) おもてなし態勢強化事業

観光客へのあいさつ、観光列車への手振り等を行う「おもてなしサポーター」の10万人募集や花いっぱい運動等、県民総参加での“おもてなし”を行い、受入態勢の充実を図る。

### (3) JRグループとの連携事業

JR九州やJR西日本に、D&S列車や団体臨時列車の運行を働きかけ、誘客を促進する。

## 5 MICE誘致推進事業

MICE誘致の窓口となるMICEセンターにおいて、団体や企業情報の個別収集、MICE開催データの充実や受入体制の確立を進める。

また、県内関係団体や企業並びに県外重点地区への訪問セールスを実施するとともに、様々なMICE開催ニーズに応えるための支援制度の充実を図る。

## 6 緊急雇用おんせん県魅力発信・着地型商品造成事業

「おんせん県おおいた」のイメージを浸透させるため、新たに職員を雇用し、情報発信を強化する。

また、DCを契機とした県内各地の着地型商品の造成、販売支援に向けた体制を構築し、一層の誘客促進を図る。

## 7 海外観光客誘致対策事業

急速に経済発展を続ける東アジアや東南アジアを主なターゲットに、本県の特徴を生かし、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチを行い、誘客を展開する。

### (1) 韓国対策

大分県への観光客数では最大の実績のある韓国に対しては、国際観光展・商談会等への出展やプロモーションを行うとともに、旬な旅行情報や施設情報などニーズの高い情報の提供を行い、更なる誘客へと繋げる。

### (2) 台湾対策

温泉文化を共有する台湾で、「おんせん県」のPRを行い、更なる誘客を促進するとともに、きめ細かな情報提供を行う。

### (3) 中国対策

徐々に回復基調にある中国に対して、フリーペーパーへの掲載や、招請事業を行い、誘客を促進する。

### (4) タイ対策

A S E A Nの中でも親日的で訪日観光客が急速に増加しているタイにおいて、観光展への出展やプロモーションを複数回行い、商品造成を促進し誘客を図る。

### (5) 「おんせん県おおいた」の知名度向上事業（新規）

台湾やタイで「おんせん県おおいたマンス」を開催し、旅行先としての知名度の向上を図り、個人旅行需要を喚起する。

### (6) ツーリズムコーディネーター養成（新規）

海外からの旅行社やメディアに対しての案内に、機動的かつ柔軟に対応できるよう、県内の通訳ガイド等に対する研修等を実施し、資質向上を図る。

### (7) W I - F I を活用した受入環境整備（新規）

観光施設やホテル等でのインターネット環境を整備するため、W I - F I を活用した環境整備を支援し、体制整備を図る。

## 8 ツーリズム推進体制強化事業

### (1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行う。

### (2) 理事会の開催

通常理事会については、年3回開催する（6月、10月、3月）。

### (3) 運営会議及び事業企画委員会の開催

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長、筆頭副会長及び副会長からなる運営会議を開催する。

また、事業企画委員会において、新たな大分県ツーリズム戦略に対応した、今後のツーリズムおおいたの事業展開及びそれに対応した組織体制について、検討を行う。

#### **(4) 運営基盤の確立**

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入促進を図るとともに、自主事業の収入増加を図るため、収益事業の検討を行うなど運営基盤の強化を図る。

#### **(5) 会員との連携強化**

会員への迅速かつ、きめ細かな情報提供を行うとともに、会員と共同での事業推進を図る。